

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 2 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200635		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 江波气象台入口		
所在地	〒730-0834 広島市中区江波二本松2丁目10-22 TEL 082-295-5575		
自己評価作成日	令和7年1月29日	評価結果市町受理日	令和7年5月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200635-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和7年2月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご本人様やご家族の要望に沿ったケア・身体機能に応じたケア・笑顔に繋がるケアを職員間で統一し、実践するようにしています。
食事はグループホーム内ですべて手作りをし、お誕生日などはご本人のお好きな物を提供しています。また、キッチンからの匂いや音などから、毎回の食事を楽しみにして頂く事も大切にしています。
当グループホームは、江波山の麓に位置し、春は桜・秋は紅葉と季節を感じる事が出来る様な生活をして頂いています。コロナ禍で中止していた外出レクや外泊を再開する事で、皆様に喜んで頂ける工夫をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

本施設の強みは、利用者一人ひとりの生活に寄り添った柔軟な対応と、個別ニーズに応じた支援を行っている。食事は3食とも手作りにて利用者の好みに配慮した食事提供を行っており、日常的な意見聴取を通じて、個別のニーズを把握し対応している。トイレ誘導や入浴支援では、身体的な状態に応じた工夫を行い、安心して過ごせる環境を整えている。外出希望にも柔軟に対応し、猫カフェなどの個別ニーズにも対応している。加えて、清掃や動線確保など、生活空間の快適さにも配慮し、車椅子利用者の動きやすさを考慮した配置変更を行っている。また、なじみの品物を持参してもらうことで、利用者が自分らしく過ごせるよう支援している。見守りセンサーを各全居室に設置し、リビング画面や施設スマートフォンで利用者の様子や状態が一目で確認でき、変化に気づける体制を整備しており、ICT（情報通信技術）を活用した取り組みを行っている。

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送り時に唱和している。理念を日常業務の中で活かし、利用者主体の運営を心がけている。	理念は開設時に作成し事務所に掲示している。朝礼時唱和にて職員の意識付けを図っている。季節を感じる取り組みとして花見の実施や、地域住民と買い物時などに挨拶を交わし関係性を構築するなど理念を意識し取り組んでいる。毎年元旦の拝賀式で代表者より年度目標を発表している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、さまざまな地域行事に参加させていただいている。	町内会に加入し行事の案内など地域の情報を受け取っている。地域の方が介護相談に訪れた際には、相談に応じている。施設に2カ月に1回美容院の訪問があるが、なじみの美容院に家族の協力のもと通っているケースもある。近隣保育園の慰問や演奏や踊りのボランティアの慰問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に一度行う運営推進会議に於いて認知症の方への支援の方法など理解していただくよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	知識を有する方や市役所の出前講座などゲストとして参加して頂き、地域の方にも有意義な内容で、毎回サービスの向上に役立っている。	出前講座の企画を適宜行っている。薬局からの参加があった際には栄養指導を受けたことがあり、献立メニューの栄養素の不足について指摘を受けたことがある。これを踏まえ、栄養バランスの改善に努めている。また、利用者から果物をつけてほしいという要望があり、対応している。	運営推進会議に利用者の参加がないため、参加を促進する取り組みと、不参加のご家族には会議内容の報告を行い、情報共有を図ることを期待します。また、報告書の内容は詳細に記載し、議題の工夫を行うことで、会議の内容を充実させ、利用者やご家族が参加しやすい環境を整えることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	法改正や介護保険のことなど気軽に質問させていただき多方向の協力関係にあり必要な情報を得られるようにしている。	法人本部の事務が広島市との連絡などを対応しており、そこから事業所に情報共有を図っている。計画作成担当者は、介護保険に関する情報を介護保険課へ問い合わせしている。オンライン集団指導には定期的に参加している。現在、生活保護を利用する利用者の受け入れ実績はない。	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>当法人では全施設、身体拘束は何があってもしてはならないと位置づけ、必ず代替があるものとし、日々努力している。</p>	<p>年2回の研修会を開催し、委員会は年4回実施している。玄関は常時施錠している。利用者が外出を希望する際は、職員が付き添い歩行を行っている。契約時には、身体拘束に関する説明を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待の研修は適時行い、禁止行為をスタッフに周知している。虐待の芽チェックリストを使用して、虐待を見逃さないように留意している。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員研修会を行い、「日常生活支援事業」や「成年後見制度」を学ぶ機会を設け、冊子を置いて、いつも見えるように心掛けている。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>気づかず虐待となつてはいないか常にチェックし、研修も定期的に行い注意喚起している。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的に密に連携を取り、要望や意見等が運営に反映できるように努めている。</p>	<p>利用者の家族には、所持品の不足などがあつた際に連絡し、利用者の様子を伝え意向を確認している。利用者の意向は、日々の生活の中で聞き取っており、誕生日には食べたいものを確認し、外出レクリエーションでは行きたい場所を尋ねるなどの対応を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度開かれるスタッフ会議には、代表者、統括施設長が出席し、職員の意見を直接聞く機会を設けている。</p>	<p>月1回のスタッフ会議で意見をあげる他、普段の業務において職員から管理者へ相談するなど、確認の機会がある。パッドサイズが体の状態に合っていないため変更したいとの提案に、サイズの変更を行うなどの対応を行っている。物品については、故障があれば適宜修理や購入を行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員の日々勤務状態を把握し、個々の努力を適切に評価し、給与や賞与に活かし、やりがいのある職場環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者は、キャリアパス研修への参加を各施設より希望を聞き、受けたい研修を受ける事ができるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の会議に出席をしている。今後も定期的に開催し、近隣の施設と意見交換を行う予定である。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面談で、ご本人の思いをお聴きする・ご家族からも情報をお聞きするようになっている。家に近い環境で安心して過ごして頂ける様に務めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様から不安な事、要望等には、しっかり向き合い、一緒に考えて、面会時や電話連絡でお伝えする事で信頼関係を築いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>常に適切にサービスを提供できるか考えながら「その時」に何が必要か見極める目を持つよう日々努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様は、経験豊かな人生の先輩と位置づけ、常に教えを請う姿勢で日々向き合っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>良い事も悪い事もお話し、問題があった場合は、一緒に考える関係に努め、理解しながら支え合う良き相談者となるよう人間関係を構築している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会に訪れやすい環境作りに努め、家族だけでなく友人・知人も訪問しやすい施設となるよう努めている。</p>	<p>面会は前日までに予約を受け付け、1回3人まで、1日15～20分を基本として実施している。また、手紙や年賀状のやり取りを支援している。オンライン面会については、希望があれば対応している。家族の協力を得ながら馴染みの美容院に通う方もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングでアットホームな茶の間のよう に、にぎやかで明るく利用者同士がコ ミュニケーションを取るための「要」と しての役割を持たせている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、 これまでの関係性を大切にしながら、 必要に応じて本人・家族の経過をフォ ローし、相談や支援に努めている。	他施設へ移動された方に関しても、相談 や要望があれば情報提供し、支援させて 頂いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、家族様から聞き取り、本人様本位 に務めている。	職員は、利用者の小さな変化に気付く目 を養い、いつも何が必要かを把握でき るよう努めている。	利用者には、日常の中で意見を聞いている。 意思疎通が難しい方については、利 用者の家族から確認し、以前の食事の好 みを確認し、濃い味付けを好むという情 報を得たことで、味付けを工夫し、食事 量が増えた事例がある。また、手芸や編 み物を継続している事例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 本人様の生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている。	在宅時の情報を把握し、担当ケアマネの 意見も参考にしながら大きな環境の変 化にならないように本人の意思の尊重に 努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状の把握に努めて いる。	本人様の状況を十分に把握した上で、プ ランを計画実施し、本人様に合った生 活を送って頂いている。また、状況の変 化等記録に残して職員全員で把握でき るようになっている。		

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングを3ヶ月ごとに実施し、目標達成状況を鑑みながら、必要とあればプランの変更をして現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族から話を聞くことや職員からの情報収集、スタッフ会議にて検討し計画書を作成している。毎日のケアプラン実施確認や、モニタリングを行い評価を反映させている。利用者には、できることを続けてもらえるように、洗濯物たたみや机拭きなど作業を取り入れ実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録やケアプラン実施記録などで情報を得、プラン立案に役立っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要な受診の付き添いなどの支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>今年度は、秋祭りが再開し、参加する事ができた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族様や本人様が希望される医療機関への受診・往診を行ってもらっている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。</p>	<p>内科、外科、循環器科の協力医療機関から定期的な訪問を受けている。なじみの眼科に通院する際は、家族の協力を得て受診している。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防接種を希望される場合は、施設内で実施できるようサポートしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員が得た医療的情報は、看護師に報告され、必要とあれば医師への指示を仰ぎ、適切な受診につなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護師が作成するサマリーで情報を提供することにより、その人の病歴薬情報を伝えることができている。詳細については、電話で担当者と情報を共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に看取りについてしっかりと説明を行い、必要時には再度、今後の方針等を含め話し合う環境を設け、お互いチームとして支援できるよう努めている。	看取りの件数は1件である。看取りの方針は契約時に確認し、体調に変化があった際にも再確認している。終末期には、家族の希望があれば、利用者の部屋で過ごすことができる。看取り経験が少ない職員には、看取りの一般的な経過を伝えるなど、不安を解消できるよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	看護師による応急手当の方法を研修にて学び、職員の誰もが応急処置ができ、初期対応ができている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	認知症の方を、災害時・火災時に適切に避難誘導できるよう、毎月1回ずつ昼間と夜間の訓練を行っている。備蓄食料も3日分ストックしている。	避難訓練は毎月実施しており、日中および夜間を想定した内容で行っている。施設はハザードマップで洪水浸水区域に指定されており、各居室内に救命胴衣を用意し有事の備えを施している。備蓄品として蓄電池や3日分の食料品などを保管している。	BCP（業務継続計画）の策定および定期的な見直し、内容の職員への周知が行えていない。また、BCPの設置場所についても職員への周知が不十分であるため、これらの取り組みを強化することを期待します。

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員間で注意しながら利用者様のプライバシーを大切にしている。特に排泄や入浴時の介助には注意を払い対応している。	新人職員に対して研修を行っている。排泄時には、必要以上にズボンを下ろさないようにし、利用者の羞恥心に配慮している。また、入浴時の脱衣場までの移動時にはタオルをかけるなど、見えない配慮を行っている。可能な範囲で同性介助を心掛けている。	プライバシーに関する研修については、新人職員には研修の仕組みが設けられているが、既存職員への研修が明確にされていない部分がある。プライバシーや接遇などに関する年間の研修スケジュールを作成し、既存職員への研修も強化していくことを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の思いや希望を、普段の会話の中から聞き取り把握できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の業務を優先せず、利用者が今したい事に着眼し、スムーズにそれを提供できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洋服は職員と一緒に見ますが、基本は本人で選んで着て頂いている。難しい方は、季節に合わせた洋服を選ばせて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	当苑は開設時より3食手作りの食事を提供している。時には、召し上がりたいものを伺い、料理する事もあり喜ばれている。	3食手作りで提供している。食事形態はきざみ、一口大、ミキサー、とろみの対応が可能である。利用者の好みは利用開始前や日々の生活の中から確認し把握している。誕生日などには、好きな食事を提供するなど配慮をしている。利用者は盛り付けや洗い物など行い、日々活躍している。	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事は、毎食手作りをしているが、栄養士が不在の為、提携先の薬局の管理栄養士に依頼して、1年に1度、栄養チェックを行い、過不足を把握し、日々の食事作りに役立てている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>1日3回毎食後、口腔ケアを行い職員が仕上げ磨きを行っている。又、週に1~2回、訪問歯科による口腔チェック・ケアを行い清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを知ることで、適切なトイレ誘導を行い、自立した排泄ができています。それにより、紙パンツから布パンツへの切り替えをすることができた。</p>	<p>トイレでの排泄を基本とし、排泄表に時間や排尿・排便状態、おむつ交換など記載し状況を把握・共有している。食後排泄が出やすいのを把握し、そのタイミングを考慮した誘導の工夫をしている。居室で寝たきりの方へ座る方が出やすいことも考慮し二人対応でトイレにて介助を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事に繊維質の物を積極的に取り入れたり、水分量の確認、運動など便秘に良いとされるものを摂取できるよう取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は、職員と1対1で接する事ができているゴールデンタイムである。コミュニケーションを図り、楽しく会話しながら入浴は楽しいと感じて頂ける支援に努めている。</p>	<p>週2回、午後入浴を基本としている。シャワー浴を希望する方もいるが、浴槽に入浴できる方には、浴槽を使用してもらっている。入浴前にはバイタル測定を行い、入浴後にはスポーツドリンクを提供するようにしている。浴槽には2種類のタイプがあり、必要に応じて使い分けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜は寝るものと考え、夜間眠れない方については、無理に強要せず昼間でも眠りたい時には、休養して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員はいつでも必要時に薬情報を確認することができ、看護師による説明を受けることが可能であり、必要があれば薬局に問い合わせることで適切な内服ができている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々で楽しみ方も様々であり、何を楽しいと感じるかは未定なので苑ではさまざまなレクリエーションを用意して対応している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お天気の良い日には外へ散歩に出かけている。近くの「江波山公園」は散歩コースの中でも人気があり特にお花見シーズンには皆様に喜ばれている。	散歩は月2~3回程度、不定期で実施している。利用者と職員は1対1で対応している。利用者から猫カフェに行きたいという希望を受けた際には、出かける支援を行うなど、柔軟な外出対応をしている。家族の協力を得ながら外出に行かれることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	散歩がてらの買い物時には、ご自分の買い物はご自分で支払っていただくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(さくらユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば自由に電話をかける事ができている。手紙なども自由にやりとりして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>苑には中庭がありリビングにはいつも光が差し込んでいる。季節ごとの花や野菜も身近にあり、成長を話題にしたりと居心地の良い空間となっている。</p>	<p>季節の野菜や花を育てており、中庭にはハナミズキが咲くなど、季節を感じられる工夫をしている。午前中には清掃を行っている。利用者から時計が見えないとの要望があった際には、時計の位置を変更するなど配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>それぞれの好みの場所があり、自分の思う場所で思うように過ごされている。独りになりたい時は、ご自分の部屋へ帰られて休んでおられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>愛用されていた家具を持ちこまれ、在宅時と変わらない「しつらえ」でお部屋を使って頂き居心地良く暮らして頂いている。</p>	<p>利用開始時に自宅での生活や環境を確認しており、仏壇やタンス、写真、置物などそれぞれのなじみの物を持参してもらっている。清掃は午前中に行っている。車椅子を使用するようになった際には、動線を確保し、利用者が動きやすくなるように配置を変更するなどの工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>通路やドアの大きさもゆったりしており、安全で安心な生活が営めるようにしている。自分の部屋には大きな名札をかけた迷う事がないようにしている。</p>		

V アウトカム項目(さくらユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送り時に唱和している。「理念を日常業務の中で活かし、利用者主体の運営を心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会に入会し、さまざまな地域行事に参加させていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に一度行う運営推進会議に於いて認知症の方への支援の方法など理解していただくよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	知識を有する方や市役所の出前講座などゲストとして参加して頂き、地域の方にも有意義な内容で、毎回サービスの向上に役立てている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	法改正や介護保険のことなど気軽に質問させていただき多方向の協力関係にあり必要な情報を得られるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当法人では全施設、身体拘束は何かあってもしてはならないと位置づけ必ず代替があるものとし、日々努力している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や在宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の研修は適時行い、禁止行為をスタッフに周知している。虐待の芽チェックリストを使用して、虐待を見過ごさないように留意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員研修会を行い、「日常生活支援事業」や「成年後見制度」を学ぶ機会を設け、冊子を置いて、いつも見えるように心掛けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	気づかず虐待となっていないか常にチェックし、研修も定期的に行い注意喚起している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的に密に連携を取り、要望や意見等が運営に反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度開かれるスタッフ会議には、代表者、統括施設長が出席し、職員の意見を直接聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員の日々勤務状態を把握し、個々の努力を適切に評価し、給与や賞与にいかし、やりがいのある職場環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者は、キャリアパス研修への参加を各施設より希望を聞き、受けたい研修を受ける事ができるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の会議に出席をした。今後も定期的開催し、近隣の施設と意見交換を行う予定。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面談で、ご本人の思いをお聴きする・ご家族からも情報をお聞きするようになっている。家に近い環境で安心して過ごして頂ける様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様から不安な事、要望等には、しっかり向き合い、一緒に考えて、面会時や電話連絡でお伝えする事で信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	常に適切にサービスを提供できるか考えながら「その時」に何が必要か見極める目を持つよう日々努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は、経験豊かな人生の先輩と位置づけ、常に教えを請う姿勢で日々向き合っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	良い事も悪い事もお話し、問題があった場合は、一緒に考える関係に努め、理解しながら支え合う良き相談者となるよう人間関係を構築している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会に訪れやすい環境作りに努め、家族だけでなく友人・知人も訪問しやすい施設となるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングでアットホームな茶の間のよう に、にぎやかで明るく利用者同士がコ ミュニケーションを取るための「要」として の役割を持たせている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、 これまでの関係性を大切にしながら、 必要に応じて本人・家族の経過をフォ ローし、相談や支援に努めている。	他施設へ移動された方に関しても、相談 や要望があれば情報提供し、支援させて 頂いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、家族様から聞き取り、本人様本位 に務めている。	職員は、利用者の小さな変化の気付き 目を養い、いつも何が必要かを把握で きるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 本人様の生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている。	在宅時の情報を把握し、担当ケアマネ の意見も参考にしながら大きな環境の 変化にならないように本人の意思の 尊重に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状の把握に努め ている。	本人様の状況を十分に把握した上で、 プランを計画実施し、本人様に合った 生活を送って頂いている。また、状況 の変化等記録に残して職員全員で把握 できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングを3ヶ月ごとに実施し、目標達成状況を鑑みながら、必要とあればプランの変更をして現状に即した介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録やケアプラン実施記録」などで情報を得、プラン立案に役立てている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要な受診の付き添いなどの支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>今年度は、秋祭りが再開し、参加する事ができた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族様や本人様が希望される医療機関への受診・往診を行ってもらっている。看護師による医療連携も行われており、適切な治療が受けられるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員が得た医療的情報は、看護師に報告され、必要とあれば医師への指示を仰ぎ、適切な受診につなげる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>看護師が作成するサマリーで情報を提供することにより、その人の病歴薬情報を伝えることができている。詳細については、電話で担当者と情報を共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りについてしっかりと説明を行い、必要時には再度、今後の方針等を含め話し合う環境を設け、お互いチームとして支援できるよう努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>看護師による応急手当の方法を研修にて学び、職員の誰もが応急処置ができ、初期対応ができている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>認知症の方を、災害時に適切に避難誘導できるよう、毎月1回づつ昼間よ夜間の訓練を行っている。備蓄食料も3日分ストックしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員間で注意しながら利用者様のプライバシーを大切にしている。特に排泄や入浴時の介助には注意を払い対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の思いや希望を、普段の会話の中から聞き取り把握できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の業務を優先せず、利用者が今したい事に着眼し、スムーズにそれを提供できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洋服は職員と一緒に見ますが、基本は本人で選んで着て頂いている。難しい方は、季節に合わせた洋服を選ばせて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	当苑は開設時より3食手作りの食事を提供している。時には、召し上がりたいものを伺い、料理する事もあり喜ばれている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事は、毎食手作りをしているが、栄養士が不在の為、提携先の薬局の管理栄養士に依頼して、1年に1度、栄養チェックを行い、過不足を把握し、日々の食事作りに役立てている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>1日3回毎食後、口腔ケアを行い職員が仕上げ磨きを行っている。又、週に1~2回、訪問歯科による口腔チェック・ケアを行い清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを知ることで、適切なトイレ誘導が行え、自立した排泄ができています。それにより、紙パンツから布パンツへの切り替えをする事ができました。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事に繊維質の物を積極的に取り入れたり、水分量の確認、運動など便秘に良いとされるものを摂取できるよう取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は、職員と1対1で接する事ができているゴールデンタイム。コミュニケーションを図り、楽しく会話しながら入浴は楽しいと感じて頂ける支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>夜は寝るものと考え、夜間眠れない方については、無理に強要せず昼間でも眠りたい時には、休養して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員はいつでも必要時に薬情報を確認することができ、看護師による説明を受けることが可能であり、必要があれば薬局に問い合わせて適切な内服ができています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々で楽しみ方も様々であり、何を楽しいと感じるかは未定なので苑ではさまざまなレクリエーションを用意して対応している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>お天気の良い日には外へ散歩に出かけている。近くの「江波山公園」は散歩コースの中でも人気があり特にお花見シーズンには皆様に喜ばれている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>散歩がてらの買物時には、ご自分の買い物はご自分で支払っていただくようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば自由に電話をかける事ができている。手紙なども自由にやりとりして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>苑には中庭がありリビングにはいつも光が差し込んでいる。季節ごとの花や野菜も身近にあり、成長を話題にしたりと居心地の良い空間となっている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>それぞれの好みの場所があり、自分の思う場所で思うように過ごされている。独りになりたい時は、ご自分の部屋へ帰られて休んでおられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>愛用されていた家具を持ちこまれ、在宅時と変わらない「しつらえ」でお部屋を使って頂き居心地良く暮らして頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>通路やドアの大きさもゆったりしており、安全で安心な生活が営めるようにしている。自分の部屋には大きな名札をかけた迷う事がないようにしている。</p>		

V アウトカム項目(もみじユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑 江波气象台入口

作成日 令和7年4月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議 ①報告書の内容が少ない。 ②来客の役職が明記されていない所がある。	①必要書類の提出を徹底。 ②記載漏れの防止。	①運営推進会議の資料を全て、外部評価の添付資料として提出する。 ②役職等の記載内容を全て再確認する。	①次回の外部評価 ②次回の運営推進会議
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。